

起動チェックリスト

事前準備 (所要時間 60分) : OK?

(MS40の場合はバラストバルブと外付けのミストフィルターはありません)

・分電盤 SW200V On、200V ケーブルが装置に接続されているか確認



- ・ロータリーポンプのガスバラストバルブが閉じていることを確認
- ・ロータリーポンプの筐体が冷たくないか? オイルレベル OK か? 確認

\*冬場に空調が落ちている場合にポンプの筐体が冷えてオイルが固くなっています  
この状態起動すると装置のヒューズが切れる場合がありますご注意ください。

・窒素ガス発生装置の電源を On にします。 **30分以上**暖機運転します



圧力: **0.65MPa** (規定値 **0.6~0.7MPa**)、フローバルブ **フル Open** 確認

・コリジョンガス (高純度ガスボンベ) レギュレータ バルブを **Open** にしストップバルブ **Open**

圧力: **0.15MPa** (規定値 **0.1-0.2MPa**) 1次圧力にて **残量** 確認



起動手順 (所要時間 4~12時間) : OK?

1. 装置の電源を投入します。

G6410/20/30/60A : スイッチは1ヶ所です。

- ・本体正面左下のスイッチ

G6460C/90/70/95 : スイッチは2ヶ所です。

- ・本体左側面真中上部緑色のスイッチ
- ・本体正面左下のスイッチ



2. ロータリーポンプが起動し始めた事を確認します。

3. ターボが起動し回転し始める事を確認します。

4. 異音がないかポンプが停止しないか確認し暫く様子をみます。

5. PCを立ち上げ、Windowsをログインします。

6. LC各モジュールの電源スイッチを入れます。

7. イニシャライズが終了したら MassHunter Acq を起動します。

起動後、MSQQQ タブより [Diadnostic]画面を表示します。

8. 真空度が下記の推奨範囲に入る事を確認します。 OK?

推奨値 : (推奨値にならない場合には一晩程度安定時間を取ります)

Rough Vacuum: 1.5-2.5 torr

High Vacuum: 1.9-2.3\*10<sup>-5</sup>(6460,6430) CC Gas On

2.7-3.3\*10<sup>-5</sup> (6410) CC Gas On

5.0-5.8\*10<sup>-5</sup>(6490) CC Gas On

2.0-3.0\*10<sup>-5</sup>(6490) CC Gas Off

真空度確認 (所要時間 15分~30分) : OK?

1. [Context]を[Tune]へ切り替えます。オートチューンのファイルを読みます。

2. マニュアルチューニングでピークを確認

3. チェックチューニングを実行し装置の状態を記録します。問題無ければ使用可

4. 使用する質量数範囲では OK で HighMass のズレが大きい場合もそのまま使用可  
装置が安定してから再度オートチューニングにて動作確認をお願いします。